



2017年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年2月14日

上場会社名 株式会社セルシード 上場取引所 東
 コード番号 7776 URL http://www.cellseed.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 せつ子
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 小野寺 純 TEL 03-6380-7490
 定時株主総会開催予定日 2018年3月29日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2018年3月30日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2017年12月期の連結業績（2017年1月1日～2017年12月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2017年12月期	85	△15.5	△1,024	-	△964	-	△966	-
2016年12月期	100	△47.8	△1,413	-	△1,415	-	△1,414	-

(注) 包括利益 2017年12月期 △960百万円 (-%) 2016年12月期 △1,464百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2017年12月期	△93.29	-	△80.8	△66.3	△1,204.7
2016年12月期	△154.94	-	△80.2	△73.8	△1,404.4

(参考) 持分法投資損益 2017年12月期 -百万円 2016年12月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2017年12月期	1,561	1,258	79.5	108.69
2016年12月期	1,343	1,164	85.4	124.56

(参考) 自己資本 2017年12月期 1,241百万円 2016年12月期 1,147百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2017年12月期	△747	△5	1,040	1,350
2016年12月期	△852	△342	232	1,056

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2016年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2017年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2018年12月期 (予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

3. 2018年12月期の連結業績予想（2018年1月1日～2018年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	300	-	△300	-	△280	-	△280	-	△24.50
通期	1,170	-	20	-	50	-	40	-	3.50

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
社
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2017年12月期	11,424,419株	2016年12月期	9,214,419株
② 期末自己株式数	2017年12月期	127株	2016年12月期	127株
③ 期中平均株式数	2017年12月期	10,359,826株	2016年12月期	9,127,516株

(参考) 個別業績の概要

1. 2017年12月期の個別業績（2017年1月1日～2017年12月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2017年12月期	85	△15.5	△1,025	—	△964	—	△967	—
2016年12月期	100	△47.8	△1,409	—	△1,413	—	△1,430	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2017年12月期	△93.36	—
2016年12月期	△156.76	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2017年12月期	1,572	1,267	79.5	109.44
2016年12月期	1,360	1,179	85.5	126.23

(参考) 自己資本 2017年12月期 1,250百万円 2016年12月期 1,163百万円

※ 決算短信は監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「1. 経営成績・財政状態に関する分析 (1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 次期の見通し	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度におけるわが国経済は、海外経済の回復による輸出の増加や生産の持ち直しを背景に、企業収益は好調に推移し、景気の緩やかな回復基調が継続いたしました。しかしながら、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動などのリスクも多く、先行きは依然不透明な状況となっております。

当社グループを取り巻く先端医療・再生医療分野におきましては、ビジネス化に向けて複数企業による積極的な参入が進むなどの盛り上がりを見せており、将来における期待度・関心度はますます高まっております。

このような環境のもと、当社グループは細胞シート再生医療事業において、食道再生上皮シート及び軟骨再生シートの開発を推進いたしました。再生医療支援事業においては、更なる器材事業の拡充を目指し新規器材の研究開発に取り組みました。また、再生医療を支援する新たな事業として「再生医療受託事業」を実施すべく、その事業化準備を推進いたしました。海外展開においては、台湾企業と細胞シート再生医療事業に関する台湾での独占的事業提携契約を締結いたしました。

このような活動を行った結果、当連結会計年度の売上高は85,061千円(前連結会計年度比15,612千円の減少)、営業損失は1,024,766千円(前連結会計年度比389,107千円の減少)、経常損失は964,184千円(前連結会計年度比451,429千円の減少)、親会社株主に帰属する当期純損失は966,474千円(前連結会計年度比447,781千円の減少)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 再生医療支援事業

更なる器材事業の拡充を目指し、新規器材の研究開発に取り組みました。これら新規器材を含めた、温度応答性細胞培養器材を中心とする器材販売活動を推進いたしました。また、当社細胞培養センターを活かした再生医療を支援する新たな事業として「再生医療受託事業」を実施すべく、当センターが「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」に基づき、「特定細胞加工物製造許可」を取得するなど、事業化準備を推進いたしました。

このような活動を行った結果、売上高は69,360千円(前連結会計年度比18,687千円の増加)、営業損失は98,539千円(前連結会計年度比11,018千円の増加)となりました。

② 細胞シート再生医療事業

細胞シート再生医療事業では、食道再生上皮シート及び軟骨再生シートの細胞シート再生医療製品パイプラインの自社開発を中心とした研究開発を推進しております。

食道再生上皮シート再生医療製品パイプラインでは、現在、治験実施中であります。2017年2月には厚生労働省より再生医療等製品の「先駆け審査指定制度」の対象品目指定を受けました。

軟骨再生シート再生医療製品パイプラインでは、2017年6月に国立研究開発法人 日本医療研究開発機構が公募した2017年度「再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業(再生医療等の産業化に向けた評価手法等の開発)」に、当社を代表機関とした研究開発項目が採択されました。また現在、共同研究先である東海大学は自己細胞を用いた軟骨再生シートについて、臨床研究時よりも適応面積の拡大を検証することで、企業治験に資するデータを収集することができ、より多くの変形性膝関節症患者を対象にすることを目的として、先進医療申請準備を検討されております。当該先進医療の実施は、当社といたしましても将来的な保険導入のための評価の一助となることから非常に有用であると考えております。当社はこれを踏まえて当連結会計年度中の治験開始予定としておりました計画を修正して、先進医療実施後に評価内容を踏まえて治験を開始することにいたしました。なお、当該先進医療が厚生労働省より承認を受けて開始した際には、当社は一部受託加工による収益を獲得しつつ、引き続き開発を進めて参る予定でございます。

また、海外展開におきましては、台湾企業(MetaTech社)との細胞シート再生医療事業に関する台湾での独占的事業提携契約を締結いたしました。当該契約締結を受けて今後複数年に亘り総額約1,250,000千円の売上高計上を予定しております。契約初年度の当連結会計年度は、MetaTech社からコンサルティングフィーとして売上高15,700千円を計上いたしました。

以上のような活動を行った結果、売上高は15,700千円(前連結会計年度比34,299千円の減少)、営業損失は615,091千円(前連結会計年度比414,837千円の減少)となりました。

(2) 財政状態に関する分析

(資産)

当連結会計年度末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて217,873千円増加し、1,477,356千円となりました。これは、現金及び預金が293,834千円増加したことなどによります。

当連結会計年度末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて277千円増加し、84,310千円となりました。これは、無形固定資産のソフトウェアが655千円増加したことなどによります。

この結果、当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べて218,150千円増加し、1,561,667千円となりました。

(負債)

当連結会計年度末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて126,930千円増加し、303,094千円となりました。これは主に、前受金が86,176千円増加したことなどによります。

この結果、当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて124,026千円増加し、303,094千円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて94,124千円増加し、1,258,573千円となりました。これは、新株予約権の行使による新株の発行により資本金が527,185千円、資本剰余金が527,185千円増加し、当期純損失を966,474千円計上したことなどによります。

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末に比べて293,833千円増加し、1,350,223千円となりました。当連結会計年度に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動に使用した資金は747,173千円(前連結会計年度比104,854千円の支出減)となりました。これは主に、税金等調整前当期純損失を964,184千円計上したことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果使用した資金は5,004千円(前連結会計年度比337,993千円の支出減)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出4,289千円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果獲得した資金は1,040,707千円(前連結会計年度比808,057千円の収入増)となりました。これは、新株予約権の行使による新株の発行による収入1,038,811千円によるものです。

(3) 次期の見通し

再生医療支援事業では、器材製品の海外市場販売戦略の見直しなどを推進し、販売の拡大を図って参ります。また、一部サービスを拡張いたします。再生医療に関わる総合的なサポートを通じて、再生医療の研究開発・事業化を支援する再生医療受託サービスを開始いたします。これらを通してセグメント売上高70百万円を見込んでおります。

細胞シート再生医療事業では、当期に引き続き主に食道再生上皮シート及び軟骨再生上皮シートの開発を推進して参ります。2017年4月に、MetaTech社と細胞シート再生医療事業に関する台湾での独占的事業提携契約を締結いたしました。本契約で当社はMetaTech社に対して細胞シート再生医療事業(食道再生上皮シート・軟骨再生シート)の台湾での独占的な開発・製造・販売権を付与いたしました。これにより台湾での細胞シート再生医療事業の開発・事業化は、当社支援のもとでMetaTech社が主体となって推進しております。提携先であるMetaTech社の開発推進意欲は非常に旺盛であり、当連結会計年度の進捗状況を鑑みると、開発進捗に対応して提供予定の当社開発・製造関連データの大部分を2018年中に提供実施する見込みです。また今後、MetaTech社との事業提携に追加して、アジア諸国・欧米への細胞シート再生医療事業の普及を目指して、さらに提携・ライセンス等を推進して参ります。これらを通してセグメント売上高1,100百万円を見込んでおります。

これらの施策の結果として次期は、売上高は1,170百万円、営業利益は20百万円、経常利益は50百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は40百万円を見込んでおります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当社新株予約権の行使による資金調達の実施により、当連結会計年度末の手元資金(現金及び預金)残高は1,350,223千円となり、財務基盤については安定的に推移しております。一方で事業面におきましては細胞シート再生医療事業の重要課題である当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の道程を示すまでには至っておらず、当社グループは当連結会計年度末において、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在していると判断しております。

当社グループは当該状況の解消を図るべく、以下の施策に取り組んで参ります。

当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化の実現と海外事業提携の推進による収益機会の獲得

当社グループは、今後、食道再生上皮シート並びに軟骨再生シートの開発を推進し、当社細胞シート再生医療第1号製品の早期事業化を実現すること、また海外事業提携先の開拓を通じて、更なる収益機会を獲得していくことで当該状況の解消を図って参ります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針です。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2016年12月31日)	当連結会計年度 (2017年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,056,389	1,350,223
売掛金	59,791	34,634
商品及び製品	28,640	22,868
原材料	—	224
貯蔵品	4,520	—
前払費用	15,006	20,187
未収消費税等	94,152	47,351
その他	982	1,867
流動資産合計	1,259,483	1,477,356
固定資産		
有形固定資産		
建物	21,781	22,058
機械及び装置	879	1,523
工具、器具及び備品	41,643	45,011
減価償却累計額	△42,599	△46,908
有形固定資産合計	21,704	21,684
無形固定資産		
ソフトウェア	—	655
無形固定資産合計	—	655
投資その他の資産		
その他	62,328	61,970
投資その他の資産合計	62,328	61,970
固定資産合計	84,033	84,310
資産合計	1,343,516	1,561,667
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,522	6,195
未払金	72,945	107,931
未払法人税等	6,169	13,606
前受金	62,544	148,721
その他	28,980	26,639
流動負債合計	176,163	303,094
固定負債		
その他	2,904	—
固定負債合計	2,904	—
負債合計	179,067	303,094

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2016年12月31日)	当連結会計年度 (2017年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,969,436	3,496,621
資本剰余金	191,233	718,418
利益剰余金	△1,998,503	△2,964,977
自己株式	△201	△201
株主資本合計	1,161,964	1,249,860
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△14,204	△8,141
その他の包括利益累計額合計	△14,204	△8,141
新株予約権	16,688	16,854
純資産合計	1,164,448	1,258,573
負債純資産合計	1,343,516	1,561,667

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2016年1月1日 至 2016年12月31日)	当連結会計年度 (自 2017年1月1日 至 2017年12月31日)
売上高	100,673	85,061
売上原価	19,855	34,040
売上総利益	80,818	51,021
販売費及び一般管理費		
研究開発費	1,065,326	632,314
その他	429,365	443,472
販売費及び一般管理費合計	1,494,692	1,075,787
営業損失(△)	△1,413,874	△1,024,766
営業外収益		
受取利息	208	13
補助金収入	9,258	67,959
保険返戻金	1,305	—
その他	2,141	2,366
営業外収益合計	12,914	70,339
営業外費用		
為替差損	13,168	613
株式交付費	1,486	4,650
支払手数料	—	4,238
その他	—	256
営業外費用合計	14,654	9,757
経常損失(△)	△1,415,613	△964,184
税金等調整前当期純損失(△)	△1,415,613	△964,184
法人税、住民税及び事業税	1,210	2,290
法人税等調整額	△2,567	—
法人税等合計	△1,357	2,290
当期純損失(△)	△1,414,255	△966,474
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,414,255	△966,474

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2016年1月1日 至 2016年12月31日)	当連結会計年度 (自 2017年1月1日 至 2017年12月31日)
当期純損失(△)	△1,414,255	△966,474
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△50,319	6,063
その他の包括利益合計	△50,319	6,063
包括利益	△1,464,575	△960,411
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△1,464,575	△960,411
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2016年1月1日 至 2016年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,852,583	74,380	△584,247	△201	2,342,514
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	116,853	116,853			233,706
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△1,414,255		△1,414,255
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	116,853	116,853	△1,414,255	—	△1,180,549
当期末残高	2,969,436	191,233	△1,998,503	△201	1,161,964

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	36,115	36,115	11,097	2,389,727
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)				233,706
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△1,414,255
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△50,319	△50,319	5,590	△44,728
当期変動額合計	△50,319	△50,319	5,590	△1,225,278
当期末残高	△14,204	△14,204	16,688	1,164,448

当連結会計年度(自 2017年1月1日 至 2017年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,969,436	191,233	△1,998,503	△201	1,161,964
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	527,185	527,185			1,054,370
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△966,474		△966,474
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	527,185	527,185	△966,474	—	87,895
当期末残高	3,496,621	714,418	△2,964,977	△201	1,249,860

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△14,204	△14,204	16,688	1,164,448
当期変動額				
新株の発行(新株予約権の行使)				1,054,370
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△966,474
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	6,063	6,063	165	6,228
当期変動額合計	6,063	6,063	165	94,124
当期末残高	△8,141	△8,141	16,854	1,258,573

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2016年1月1日 至 2016年12月31日)	当連結会計年度 (自 2017年1月1日 至 2017年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失(△)	△1,415,613	△964,184
減価償却費	8,084	4,726
受取利息	△208	△13
為替差損益(△は益)	176	312
補助金収入	△9,258	△67,959
株式交付費	—	4,650
雑収入	—	△229
支払手数料	—	4,238
株式報酬費用	6,646	5,169
有形固定資産の減少額	518,052	—
売上債権の増減額(△は増加)	△33,023	25,303
たな卸資産の増減額(△は増加)	△11,157	10,068
差入保証金の増減額(△は増加)	△3,000	—
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△3,233	41,201
仕入債務の増減額(△は減少)	△785	672
未払金の増減額(△は減少)	9,618	34,821
前受金の増減額(△は減少)	—	△166
その他の流動負債の増減額(△は減少)	20,159	△4,584
小計	△913,543	△905,973
利息の受取額	181	11
補助金の受取額	62,544	159,738
法人税等の支払額	△1,210	△950
営業活動によるキャッシュ・フロー	△852,027	△747,173
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△343,622	△4,289
無形固定資産の取得による支出	—	△715
敷金の回収による収入	625	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△342,997	△5,004
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	232,650	1,038,811
新株予約権の発行による収入	—	6,600
新株予約権の買入消却による支出	—	△4,704
財務活動によるキャッシュ・フロー	232,650	1,040,707
現金及び現金同等物に係る換算差額	△48,842	5,303
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,011,218	293,834
現金及び現金同等物の期首残高	2,067,607	1,056,389
現金及び現金同等物の期末残高	1,056,389	1,350,223

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業領域の核を「再生医療」として、国内・海外で再生医療支援事業、細胞シート再生医療事業の活動を展開していることから、「再生医療支援事業」及び「細胞シート再生医療事業」の2つを報告セグメントとしております。

「再生医療支援事業」では、温度応答性細胞培養器材等の研究開発・製造・販売を中心に行っており、「細胞シート再生医療事業」では、現在、細胞シート再生医療製品の研究開発を中心に行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2016年1月1日 至 2016年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1, 2, 3, 4, 5	連結財務諸 表計上額 (注) 6
	再生医療支援 事業	細胞シート再 生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	50,673	50,000	100,673	—	100,673
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	50,673	50,000	100,673	—	100,673
セグメント損失(△)	△87,520	△1,029,929	△1,117,449	△296,424	△1,413,874
セグメント資産	53,432	177,461	230,893	1,112,623	1,343,516
セグメント負債	11,731	121,039	132,770	46,296	179,067
その他の項目					
減価償却費	53	3,713	3,767	4,316	8,084
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	—	165	165	2,861	3,026

(注) 1 セグメント損失(△)の調整額△296,424千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント資産の調整額1,112,623千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に親会社での余資運用資金及び管理部門に係る資産であります。

3 セグメント負債の調整額46,296千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であります。全社負債は、主に親会社での未払金、及び未払法人税などであります。

4 減価償却費の調整額4,316千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に対するものであります。

5 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額2,861千円は、報告セグメントに帰属しない親会社本社の設備投資額であります。

6 セグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2017年1月1日 至 2017年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1, 2, 3, 4, 5	連結財務諸 表計上額 (注) 6
	再生医療支援 事業	細胞シート再 生医療事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	69,360	15,700	85,061		85,061
セグメント間の内部売上高又は振替高					
計	69,360	15,700	85,061		85,061
セグメント損失(△)	△98,539	△615,091	△713,631	△311,135	△1,024,766
セグメント資産	57,026	149,854	206,880	1,354,786	1,561,667
セグメント負債	16,357	234,307	250,664	52,429	303,094
その他の項目					
減価償却費	356	281	638	4,088	4,726
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	3,514	—	3,514	1,490	5,004

- (注) 1 セグメント損失(△)の調整額△311,135千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に親会社本社の管理部門に係る費用であります。
- 2 セグメント資産の調整額1,354,786千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は、主に親会社での余資運用資金及び管理部門に係る資産であります。
- 3 セグメント負債の調整額52,429千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であります。全社負債は、主に親会社での未払金、及び未払法人税などであります。
- 4 減価償却費の調整額4,088千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産に対するものであります。
- 5 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額1,490千円は、報告セグメントに帰属しない親会社本社の設備投資額であります。
- 6 セグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2016年1月1日 至 2016年12月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	欧州	アジア	米国	合計
37,427	12,176	50,720	349	100,673

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

欧州・・・デンマーク

アジア・・・韓国、台湾

3 売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(表示方法の変更)

前連結会計年度において、「その他」に含めておりました「アジア」は重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の「2. 地域ごとの情報

(1) 売上高」の組替えを行っております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
MetaTech(AP) INC.	50,000	細胞シート再生医療事業
フナコシ(株)	21,812	再生医療支援事業
Thermo Fisher Scientific Inc.	12,176	再生医療支援事業

当連結会計年度(自 2017年1月1日 至 2017年12月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位:千円)

日本	欧州	アジア	米国	合計
50,949	17,341	16,600	169	85,061

(注) 1 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

欧州・・・デンマーク

アジア・・・韓国、台湾

3 売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
フナコシ(株)	26,975	再生医療支援事業
Thermo Fisher Scientific Inc.	17,341	再生医療支援事業
MetaTech(AP) INC.	15,700	細胞シート再生医療事業
和光純薬工業(株)	12,945	再生医療支援事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2016年1月1日 至 2016年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2017年1月1日 至 2017年12月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2016年1月1日 至 2016年12月31日)		当連結会計年度 (自 2017年1月1日 至 2017年12月31日)	
1株当たり純資産額	124円56銭	1株当たり純資産額	108円69銭
1株当たり当期純損失金額(△)	△154円94銭	1株当たり当期純損失金額(△)	△93円29銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在するものの1株当たり当期純損失金額であるため記載していません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在するものの1株当たり当期純損失金額であるため記載していません。	

(注) 算定上の基礎

1 1株当たり純資産額

	前連結会計年度 (2016年12月31日)	当連結会計年度 (2017年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	1,164,448	1,258,573
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	16,688	16,854
(うち新株予約権)(千円)	(16,688)	(16,854)
普通株式に係る純資産額(千円)	1,147,760	1,241,718
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	9,214	11,424

2 1株当たり当期純損失金額

	前連結会計年度 (自 2016年1月1日 至 2016年12月31日)	当連結会計年度 (自 2017年1月1日 至 2017年12月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失金額(△) (千円)	△1,414,255	△966,474
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失金額(△)(千円)	△1,414,255	△966,474
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,127	10,359
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権3種類(新株予約権の数3,150個)	新株予約権3種類(新株予約権の数2,770個)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。